

【ビジネスプラン/論文】 ScWrap (スクラップ)

あらゆる情報データを楽しくスクラップブック化できる キュレーション志向のデータ整理ツール

“ScWrap” Curation-oriented tool for organizing data.

古志 浩之

Hiroyuki Koshi

デジタルハリウッド大学大学院
修士

趣旨と背景

プライベートでもビジネスフィールドでも、個々が取り扱う情報データ量は増え続けている。昨今、各種ストレージサービスなどは充実しているが、置き場所を複数保有しており、散在してしまった情報データの取り扱いに悩んでいる人は少なくない。その弊害として、いざ必要になった時に置き場所を忘れてしまったり行方不明になったり、そもそも保存していたことを忘れてしまっている場合もある。

増えてしまった情報データを整理するのはとても骨の折れる作業で、多くの人が後回しにしてしまっているのではないかと

保有しているあらゆる情報データを整理するのは至難であるが、個々がもっとも大切にしている興味分野に関する情報データだけでも、快適に整理する方法はないのか？と考え、本プランを策定した。

課題解決策

情報データの整理作業は大部分の人が面倒な作業と捉えると思う。そこで、温故知新的発想から楽しみながら情報を整理・保存することのできる、アナログのスクラップ帳の利点を生かした、情報データを楽しく収集・整理できるデータ整理ツール (Web アプリケーション) を考えた。

特長

「好きなモノを好きなカタチに。」というコンセプトのもと、テーマを決めてローカルやネット上のあらゆる情報データを一つ (一画面) のスクラップブックとしてまとめられる。当アプリケーションに用意されたデザインテーマやサードパーティー (クリエイター) が作成したデザインテーマ、企業から出稿いただいたブランド広告デザインテーマなどを自由に反映することができるので、個々の興味分野に即した独自の世界観をスクラップブックに反映できる。集められた情報データ (当アプリケーション上では「アイテム」と呼称) にはさまざまなメタ情報 (独自情報) を付与することが可能で、作成済みである多数のスクラップブック、アイテムをふり回り確認する際の分類、検索条件になる。また、設定次第で公開することもできるので、特定分野に興味を持つ者同士がスクラップブックを通じてつながったり、お互いを高めあったり新たなソーシャルライフも実現できる。

前述した通り、情報データを楽しく収集・整理できることが重要で、ネット上の情報データ収集には「キュレーション API」、メタ情報 (独自情報) の登録には「言語解析 API」、スマートフォンのカメラ機能で撮影したフォトデータを「画像

認識 API]、「文字認識 API」などでアイテム情報を自動認識させるなどの収集・登録支援を実現しスクラップブックを作る本来の楽しさに注力できるよう最新のテクノロジーを導入する計画である。情報収集部分では人工知能 AI との連携も想定できる。

今後の展開とまとめ

高度情報化社会において、スマートな情報の整理・活用は企業でも個人でも大きな課題と考える。情報データが増え続けるのはこの先も止められない。「情報データ難民=蓄えた情報データに翻弄されて自分を見失ってしまう人」という言葉も一般化するかもしれない。

そのようにデジタル社会の恩恵とは逆に喜ばしくない未来も心に留めながら、さまざまな情報データ活用シーンの調査を継続して行い、ターゲットニーズにマッチした本ツールの在り方やビジネスモデルを継続検討していきたいと考えている。

ソーシャル社会の現代は「広く、浅く、ゆるく」などのキーワードが目につく時代ではあるが、本ツールは自分の興味分野を深掘りするためのツールであると同時に、スクラップブックを共有することにより知らない人と同じ興味分野で深くつながれることを期待している。不特定多数とつながる発想ではなく特定の理解者と考えを深めたり、意味のあるやりとりを交わしたりすることがこれからの時代に必要なのではないかと感じている。

図 1 ScWrap (ロゴ)



図 2 ScWrap (Web アプリケーション ログイン画面イメージ)



古志 浩之
所属機関：株式会社グローブテ
イルズ代表取締役 (President
and CEO)
(www.globetail.jp)